

精緻を極めるテクニック、鋭敏かつ柔軟な音楽的センス
神童と謳われ、現在ヨーロッパで活躍目覚ましい
ヴァイオリニスト 弓新の“現在”

— 盟友 ナタナエル・グーアン (ブラームス国際コンクール優勝) を迎えて —

Arata Yumi 弓新

ヴァイオリン・リサイタル

ピアノ ナタナエル・グーアン

「弓新は、ダイナミックかつ俊敏で研ぎ澄まされた演奏家だ。そして、作品に対して深い知識を持ち、最大限の敬意を込めて演奏する。多くの人にとってその“敬意”は自身の演奏に向けられて妨げとなってしまうがちだが、彼の場合は決してそうではなく、むしろ音楽の根源への探求のきっかけであり、核心を捉えようとする触媒でもある。この探求への純粋な精神が、彼が「弓新」であるということなのだろう。そしてそれこそが彼を傑出させている所以なのだ」
—— イリア・グリーンゴルツ(ヴァイオリニスト)

J.S.バッハ: 無伴奏ヴァイオリン・ソナタ 第3番 八長調 BWV1005

J.S. Bach: Solo Violin Sonata No.3 in C major, BWV1005

ベートーヴェン: ヴァイオリン・ソナタ 第5番 へ長調「春」op.24

Beethoven: Sonata for Piano and Violin No.5 in F major 'Spring', op.24

ストラヴィンスキー: 協奏的二重奏曲

Stravinsky: Duo Concertant

シューベルト: ヴァイオリンとピアノのための幻想曲 八長調 D934

Schubert: Fantasie for Violin and Piano in C major, D934



ナタナエル・グーアン

2018 **12.20** [木] 18:30開場 / 19:00開演
東京文化会館 小ホール

[入場料(税込)] 7/9(月)一般発売

全席自由 4,000円

主催: パシフィック・コンサート・マネジメント

[お問い合わせ・お申込み]

PCM パシフィック・コンサート・マネジメント

03-3552-3831 <http://www.pacific-concert.co.jp/>

[プレイガイド]

イープラス <http://eplus.jp/>

ローソンチケット <http://l-tike.com/> 0570-000-407 (Lコード: 35119)

東京文化会館チケットサービス <http://www.t-bunka.jp/> 03-5685-0650

※やむを得ない事情により、曲目等が変更になる場合がございますので、予めご了承ください。
※就学前のお子様のご入場はご遠慮ください。

弱冠24歳の弓新は熟練した楽器の使い手というだけではなく、その楽器と共に卓越したヴァイオリニストになっており、唯一無二の存在である。

この若きヴィルトゥオーゾは、ミステリアスな音色で表現豊かに演奏し、それは説得力に満ちていた。

—ドイツ・バートゾーデン紙、2016年10月

ヴァイオリン・リサイタル

弓新 (ヴァイオリン) Arata Yumi, Violin

2011年、第14回ヴィエニャフスキ国際コンクールにて最年少ファイナリストに贈られる特別賞を受賞し、一躍国際的な注目を浴びる。同世代の中でも傑出したヴァイオリニストとして知られ、アジアとヨーロッパを拠点に活動している。

1992年、東京生まれ。4歳でヴァイオリンを始め、2002年より桐朋学園「子供のための音楽教室」で学び、2007年に桐朋女子高等学校音楽科(共学)に入学。2008年よりチューリッヒ芸術大学に留学し、ザハール・ブロンとイリア・グリーンゴルツに師事。現在ライブツィヒのフェリックス・メンデルスゾーン・バルトルディ音楽演劇大学にてエーリッヒ・ヘーバルトに、ベルギーのエリザベート王妃音楽院にてオーギュスタン・デュメイに師事。また、クリスティアン・テツラフ、レオニダス・カヴァコス、五嶋みどり、ジャン=ジャック・カントロフ、アナ・チュマチェンコ、パメラ・フランク、エンリコ・オノフリから薫陶を受ける。

これまでに、ラルフ・ワイケルト指揮チューリッヒ室内管弦楽団、ニコライ・ジャジュラ指揮ウクライナ国立フィルハーモニー管弦楽団のほか、アルゴヴィア・フィルハーモニック、シンフォニア・イタリアーナ管弦楽団、読売日本交響楽団、東京交響楽団、東京フィルハーモニー交響楽団、神奈川フィルハーモニー管弦楽団、クラシカル・プレーヤーズ東京等のオーケストラと、ウンベルト・ベネデッティ・ミケランジェリ、アンドレア・バッティストーニ、大友直人、円光寺雅彦、曾我大介、現田茂夫、有田正広等の指揮者と共演している。

2015年には、五嶋みどりの代役としてジャン・ジャン指揮フィルハーモニア台湾とシベリウスのヴァイオリン協奏曲を披露し、華々しい台湾デビューを飾った。

また、グシュタート・メニューイン・フェスティバルやエルネン音楽祭等に参加し、サントリーホールでのチェンバーミュージック・ガーデンにおける出演や、ICEP(インターナショナル・コミュニティ・エンゲージメント・プログラム)の報告コンサートで五嶋みどりとカルテットを演奏するなど、室内楽活動も活発に行なっている。これまでにギャリー・ホフマン、バルトゥオミ・ニジョウ、クラウドリス・ヘルマン、マリン・ハルテリウス、アラスデア・ビートソン、リリー・フランシス等と共演している。

メディアへの出演も多く、2014年にNHK-FM「リサイタル・ノヴァ」へ、2017年にNHK Eテレ「ららら クラシック」へ登場し、高評を得る。

2008~2011年度ロームミュージックファンデーション奨学生、および江副記念財団第41回奨学生を経て、現在はスイス・ミグロの奨学生。キーファー・ハブリツェル音楽賞、マンフレット・グロメック賞を授与される。2016年度、第26回青山音楽賞新人賞受賞。



ナタナエル・グーアン (ピアノ) Nathanaël Gouin, Pianist

同年代の中でもっとも期待を集めるピアニストの一人であり、ヨーロッパ、アジア、アメリカの各地で演奏活動を行っている。これまでに、ラ・フォル・ジュルネ・ド・ナントやラ・ロック・ダンテロン国際ピアノ音楽祭に登場するほか、パレ・デ・ボザール、シテ・ド・ラムジーク等のコンサートホールで演奏している。

1988年、フランス生まれ。パリ国立高等音楽院、ジュリアード音楽院、フライブルク音楽大学で学ぶ。ヨハネス・ブラームス国際コンクール優勝、スウェーデン国際デュオ・コンクール優勝、リヨン国際室内楽コンクール入賞。現在、エリザベート王妃音楽チャペルのアーティスト・イン・レジデンスを務めている。またマリア・ジョアン・ピリスの〈バルティトゥーラ・プロジェクト〉に参加し、日本、スペイン、ドイツをはじめとする各国で多数のアーティストと共演し、話題を呼んだ。2017年、ミラーレより「リスト: 死のチャールダーシュ、他」をリリース。

日本でも、〈横浜市招待国際ピアノ演奏会〉や〈ラ・フォル・ジュルネTOKYO 2018〉に出演するなど、その人気が高まっている。

フランス・バンクポピュレール財団およびメイヤー財団奨学生。

